

## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 藤森工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7917 URL <https://www.zacros.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山 英士  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 佐藤 道彦 TEL 03-5804-4221  
 管理部門管掌  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	66,258	7.2	3,842	△33.3	4,499	△26.2	3,629	△13.9
2022年3月期第2四半期	61,828	5.8	5,763	6.5	6,094	5.9	4,214	11.7

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 5,699百万円（15.2％） 2022年3月期第2四半期 4,947百万円（21.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	190.46	188.47
2022年3月期第2四半期	221.19	218.51

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	130,548	90,179	63.6	4,354.34
2022年3月期	127,370	85,221	61.9	4,144.85

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 83,088百万円 2022年3月期 78,878百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	42.00	82.00
2023年3月期	—	42.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	42.00	84.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,500	△0.2	6,400	△38.1	7,300	△34.2	5,200	△32.4	272.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	19,267,760株	2022年3月期	19,267,760株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	185,906株	2022年3月期	237,406株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	19,056,764株	2022年3月期2Q	19,055,073株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、原材料・エネルギー価格をはじめとした物価上昇やウクライナ情勢の長期化、金融市場・為替動向の大幅な変動など、不安定さを抱えた状態にあり、先行きについても予断を許さない状況が一段と強まっております。

このような環境の下、情報電子事業では主力のプロテクトフィルムにおいて当第2四半期連結会計期間より、業界の生産調整の影響を大きく受けて前年同期比で減収となったものの、ウェルネス事業、環境ソリューション事業、建築・土木資材事業では増収を確保し、当社グループの売上は前年同期比で増収となりました。

損益面では、プロテクトフィルムの減収影響や、原材料価格やエネルギー・輸送コスト上昇の影響による大幅なコスト圧力の増加を受けました。コスト圧力に対しては生産効率の向上や価格転嫁を推進しておりますが、収益改善にはタイムラグがあること、並びに研究開発費や戦略費を増強したことなどから、前年同期比で大幅な減益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高662億58百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益38億42百万円（前年同期比33.3%減）、経常利益44億99百万円（前年同期比26.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益36億29百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### (ウェルネス事業)

医薬医療用包装材において海外子会社が売上を大きく伸ばし、またバイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ及び関連製品でも増収となりました。

この結果、売上高は131億69百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

#### (環境ソリューション事業)

生活用品向包装材は減収となりましたが、液体容器は海外子会社を中心に売上を着実に伸ばし増収となり、食品用包装材についても売上を堅調に伸ばしました。

この結果、売上高は187億22百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

#### (情報電子事業)

電子部材関連他は、情報記録用材で世界的な需要が高まっている半導体パッケージ用層間絶縁材料を中心に増収となりましたが、ディスプレイ関連は、プロテクトフィルムでのパネル業界の生産調整の影響を受けたために大幅に減収となりました。

この結果、売上高は241億78百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

#### (建築・土木資材事業)

建築資材関連においては、煙突工事並びに空調用配管の売上は好調に推移しましたが、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上は前年を下回りました。土木資材関連については、トンネル用資材の売上が減少しました。

この結果、売上高は101億87百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	61,828	100.0	66,258	100.0	4,429	7.2
ウェルネス	11,154	18.0	13,169	19.9	2,015	18.1
環境ソリューション	17,078	27.6	18,722	28.3	1,643	9.6
情報電子	24,233	39.2	24,178	36.5	△54	△0.2
建築・土木資材	9,362	15.1	10,187	15.4	824	8.8
営業利益	5,763	9.3	3,842	5.8	△1,921	△33.3
ウェルネス	984	8.8	822	6.2	△161	△16.4
環境ソリューション	1,284	7.5	671	3.6	△612	△47.7
情報電子	2,569	10.6	1,224	5.1	△1,344	△52.3
建築・土木資材	925	9.9	1,122	11.0	197	21.3

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金や投資有価証券が減少しましたが、有価証券が増加したことなどにより、前年度末に対して31億78百万円増加の1,305億48百万円となりました。

負債は、仕入債務が減少したことなどにより、前年度末に対して17億78百万円減少の403億69百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことに加え、円安の進行に伴い為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前年度末に対して49億57百万円増加の901億79百万円となり、自己資本比率は63.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,051	9,468
受取手形、売掛金及び契約資産	36,662	37,023
有価証券	17,097	21,196
商品及び製品	6,190	6,186
仕掛品	1,741	1,819
原材料及び貯蔵品	5,568	5,990
その他	2,659	2,424
貸倒引当金	△47	△46
流動資産合計	80,925	84,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,190	46,080
減価償却累計額	△26,416	△27,512
建物及び構築物(純額)	18,773	18,567
機械装置及び運搬具	60,913	62,547
減価償却累計額	△52,193	△53,896
機械装置及び運搬具(純額)	8,720	8,651
工具、器具及び備品	7,946	8,121
減価償却累計額	△6,932	△7,149
工具、器具及び備品(純額)	1,014	971
土地	8,329	8,614
建設仮勘定	1,698	2,474
その他	1,032	1,367
減価償却累計額	△427	△524
その他(純額)	604	843
有形固定資産合計	39,140	40,122
無形固定資産		
のれん	257	260
その他	769	749
無形固定資産合計	1,027	1,009
投資その他の資産		
投資有価証券	4,769	3,726
繰延税金資産	741	769
その他	780	869
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	6,277	5,352
固定資産合計	46,444	46,484
資産合計	127,370	130,548

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,967	23,693
短期借入金	998	988
未払金	3,905	3,713
未払法人税等	1,163	1,162
契約負債	548	396
賞与引当金	1,468	1,294
役員賞与引当金	181	63
その他	1,624	1,538
流動負債合計	34,857	32,850
固定負債		
長期借入金	975	925
繰延税金負債	141	70
退職給付に係る負債	4,640	4,709
役員退職慰労引当金	589	567
その他	944	1,247
固定負債合計	7,291	7,519
負債合計	42,148	40,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,465	6,475
利益剰余金	63,527	66,357
自己株式	△608	△476
株主資本合計	75,985	78,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,486	1,033
為替換算調整勘定	1,302	3,024
退職給付に係る調整累計額	104	74
その他の包括利益累計額合計	2,892	4,132
新株予約権	466	386
非支配株主持分	5,876	6,703
純資産合計	85,221	90,179
負債純資産合計	127,370	130,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	61,828	66,258
売上原価	47,423	52,786
売上総利益	14,405	13,471
販売費及び一般管理費	8,642	9,629
営業利益	5,763	3,842
営業外収益		
受取利息	32	32
受取配当金	79	178
受取保険金及び配当金	31	83
為替差益	72	236
補助金収入	1	1
リサイクル収入	50	40
その他	90	103
営業外収益合計	359	677
営業外費用		
支払利息	10	17
売上割引	18	—
その他	0	2
営業外費用合計	28	19
経常利益	6,094	4,499
特別利益		
固定資産売却益	3	9
投資有価証券売却益	0	945
特別利益合計	4	955
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	15	10
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	15	11
税金等調整前四半期純利益	6,082	5,443
法人税、住民税及び事業税	1,548	1,253
法人税等調整額	△17	117
法人税等合計	1,531	1,370
四半期純利益	4,551	4,072
非支配株主に帰属する四半期純利益	336	443
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,214	3,629



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	4,551	4,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	△453
為替換算調整勘定	517	2,143
退職給付に係る調整額	2	△63
その他の包括利益合計	395	1,626
四半期包括利益	4,947	5,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,509	4,868
非支配株主に係る四半期包括利益	437	830

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,082	5,443
減価償却費	2,600	2,476
のれん償却額	26	30
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△22
賞与引当金の増減額(△は減少)	129	△179
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△95	△117
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	78	△57
受取利息及び受取配当金	△112	△211
支払利息	10	17
固定資産除売却損益(△は益)	11	1
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△945
株式報酬費用	28	32
売上債権の増減額(△は増加)	△302	323
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,291	22
仕入債務の増減額(△は減少)	620	△2,315
その他	718	319
小計	8,494	4,811
利息及び配当金の受取額	112	211
利息の支払額	△10	△17
法人税等の支払額	△1,883	△1,269
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,712	3,736
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,953	△2,238
有形固定資産の売却による収入	2	△0
無形固定資産の取得による支出	△79	△58
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	1	1,340
その他	△1	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,036	△993
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△719	△152
長期借入金の返済による支出	△94	△49
非支配株主への払戻による支出	—	△25
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△761	△799
非支配株主への配当金の支払額	△66	△68
その他	△43	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,685	△1,110
現金及び現金同等物に係る換算差額	209	883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,199	2,516
現金及び現金同等物の期首残高	24,278	28,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,478	30,665

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	建築・土木 資材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,154	17,078	24,233	9,362	61,828	—	61,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	152	121	457	0	732	△732	—
計	11,306	17,200	24,690	9,363	62,561	△732	61,828
セグメント利益	984	1,284	2,569	925	5,763	—	5,763

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	建築・土木 資材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,169	18,722	24,178	10,187	66,258	—	66,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	182	117	412	0	713	△713	—
計	13,352	18,839	24,591	10,188	66,972	△713	66,258
セグメント利益	822	671	1,224	1,122	3,842	—	3,842

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。